

研究・調査報告書

報告書番号	担当
1 2 1	独立行政法人酒類総合研究所
題名 (原題/訳) Acute and chronic effects of dinner with alcoholic beverages on nitric oxide metabolites in healthy men. 健康人が夕食をアルコール飲料とともに摂取した時の窒素酸化代謝物の急性、慢性の影響	
執筆者 Sierksma A, Van Der Gaag MS, Grobbee DE, Hendriks HF.	
掲載誌 (番号又は発行年月日) Clin Exp Pharmacol Physiol. 2003, 30(7):504-506	
キーワード 窒素酸化代謝物、血清、アルコール	
要 旨 <p>本研究は夕食をアルコール飲料とともに摂取した時の血清窒素酸化代謝物、硝酸塩、亜硝酸塩に与える急性、慢性影響を 11 人の非喫煙中年男性で調べた。食事コントロール、ランダム化した交差試験で被験者には 4 杯のグラス赤ワイン、ビール、スピリッツ、炭酸ミネラルウォーターを夕食とともに 3 週間摂取してもらった。3 週間目の終わりに、血清 NO_x 濃度を夕食摂取前、摂取 1、5、13 時間後にそれぞれ測定した。その結果、血清 NO_x 濃度は、いずれの飲料群でも食事 1、5 時間後に夕食前の値と比べて約 50%増加していた。夕食後 1 時間で、アルコールを摂取した群の血清 NO_x 濃度は夕食とともに水を摂取した群に比べて 11%低くなっていた。絶食時の血清 NO_x 濃度 (夕食 13 時間後) は夕食前の濃度とほぼ同じでありアルコール摂取間で差は観察されなかった。摂食により急速かつ一過性に血清の NO_x 濃度を増加させ、その効果はアルコール飲料との同時摂取によりわずかに減少した。</p> <p>以上の結果から、慢性的に適度に飲酒することは血清 NO_x 濃度に影響を与えないと推察される。</p>	